



17 JAとりで総合医療センター

病院の概要

開設	1947年4月1日
開設者	茨城県厚生農業協同組合連合会
院長名	富満 弘之
病床数	414床（一般406床、感染8床）
標榜科	内科、脳神経内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、小児科、外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科、高齢者歯科、病理診断科、臨床検査科、内分泌代謝内科、膠原病・リウマチ内科
医師数	110人
指導医数	30人
研修医数	17人（基幹型9人、協力型8人）
研修医の主な出身大学	東京医科歯科大学、筑波大学、信州大学、東京女子医科大学、東京医科大学、産業医科大学

外来患者数 | 1,204人／日
入院患者数 | 300人／日

募集要項

応募資格	2022年3月国家試験合格見込者
採用人数	5人
試験日程	2021年8月下旬（予定） 日時決定次第ホームページに掲載します
選考方法	小論文、面接
処遇	■身分：常勤医師 ■給与：与：1年次基本給35万円 その他諸手当等を含む年収約540万円（時間外勤務手当は別途支給） 2年次基本給45万円 その他諸手当等を含む年収約705万円（時間外勤務手当は別途支給）（令和2年12月1日現在、日当直手当を除く） ■社会保険：厚生年金、健康保険、雇用保険加入 ■宿舍：住宅手当支給 ■その他：

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…5～6年生
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先
担当者：庶務課 小倉・高野
TEL：0297-74-5551
E-mail：toride@medical.email.ne.jp



応募・問合せ先

JAとりで総合医療センター

〒302-0022 茨城県取手市本郷2-1-1
担当者：庶務課 小倉・高野
TEL：0297-74-5551（内線2359）
FAX：0297-74-2721
E-mail：toride@medical.email.ne.jp
URL：http://www.toride-medical.or.jp



女性医師支援

当院では常勤医師の23%にあたる25人の女性医師が働いており附属保育所も設置しております。その他、女性専用の当直室を完備、規定に従った産休、育休が取得できます。



保育所

研修プログラムの特色

- 1年目は臨床の基礎となる内科、外科、救急科を研修し、2年目は精神科、小児科、産婦人科、地域医療、一般外来の研修に加え、3年目以降に希望する診療科を鑑みた準備が出来るように選択科目を多くとっております。
- 3次救急施設ではありませんが、救急搬送患者を含む救急患者数は非常に多く、県内でも有数の給料医療に力をいれる病院です。特にCommon diseaseの救急から重症疾患まで幅広く救急医療を体験できます。
- 指導体制は、指導医と研修医がマンツーマンで行っており、プライマリ・ケアの基本的診療能力を身に付けることができます。各診療科との連携及びコ・メディカルとの協力体制は万全です。
- 「いばらき夢チャレンジ臨床研修群プロジェクト」に参加、選択枠ではプロジェクトに参加する病院での研修が可能。

研修スケジュール例

1年次	内科（24週）				外科（8週）	選択科目（8週）	救急（12週）
2年次	小児科（4週）	産婦人科（4週）	精神科（4週）	地域医療 一般外来（4週）	選択科目（36週）		

《選択科目》内科（呼吸器内科、脳神経内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、内分泌代謝内科、膠原病・リウマチ内科）、外科、小児科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、麻酔科

いばらき夢チャレンジ臨床研修群プロジェクト参加病院

茨城西南医療センター病院（境町）、霞ヶ浦医療センター（土浦市）、友愛記念病院（古河市）、JAとりで総合医療センター（取手市）

専門研修の募集について

新専門医制度では内科は独自のプログラムを持っています。その他の科については、東京医科歯科大学、筑波大学などの連携施設として専門研修生が研鑽を重ねています。

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定医教育施設
- ・日本透析医学会教育関連施設
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本心血管インターベンション学会認定研修施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本神経学会教育施設
- ・日本消化器学会専門医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- ・日本大腸肛門病学会専門医修練施設
- ・日本外科学会外科専門医制度関連施設
- ・日本脳神経外科学会専門医訓練施設（C項）
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医研修施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会認定専門医研修施設
- ・日本病理学会認定施設
- ・日本病院会指定優良短期日本人間ドック施設
- ・日本核医学会専門医教育病院
- ・日本核医学会専門医教育機関
- ・日本静脈経腸栄養学会実地修練施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- ・日本医学放射線学会専門医修練施設（診断・核部門）
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本IVR学会指導医修練施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本アレルギー学会準教育施設
- ・日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会暫定研修施設
- ・日本血液学会血液研修施設

病院からメッセージ



研修責任者
山本 貴信 循環器内科部長

初期研修の2年間は、医師としての考え方、基本手技を学びながら、一方でこれから専門とする診療科を決める大切な時です。熱心な指導医の下、多くの症例を経験できる病院で研修をするために、十分な情報を得た上で研修病院を決めることが大切です。当院は地域の基幹病院で、救急医療から高度先進医療まで、急性期医療の提供が主体ですが、回復期リハビリ病棟や訪問看護ステーションもあり、全人的な医療を提供しています。近隣の医療機関とも連携しながら院外実習も行っています。当院は、コモンディーズから希少疾患まで症例数も多く、指導医も熱心なため、研修医の先生方の様々な要望に応えることができると自負しております。



研修医
山川 祐馬

当院はほぼ全ての診療科が揃っているため幅広い研修を行うことができ、更に先生方との距離が近いので、研修期間に限らずいつでも質問や相談、指導を仰ぐことが出来ます。また研修環境に対する要望についても臨機応変に対応してもらえるので自身のマネージメントに沿って研修を組み立てることが出来ます。私は研修開始時は特に方向性も定まらず将来に不安を感じながら日々の診療に取り組んでいましたが、指導医の先生方やコメディカルの方々に支えられ、また時には親身になって相談に乗っていただき、納得のいく志望科を選択することが出来ました。ここは研修医を大事に、また導いてくれる場所です。もし興味があったらぜひ一度見学にいらしてください。